

知床世界自然遺産 羅臼町

ゼロカーボンシティへの挑戦

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	8 働きがいも 経済成長も	11 住み続けられる まちづくりを	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさ を守ろう	15 陸の豊かさ を守ろう	17 パートナシップで 目標を達成しよう

令和6年
北海道羅臼町

羅臼町の概要



【位置】



【アクセス】

東京成田空港→中標津空港 航空機で約1時間
中標津空港 →羅臼町 レンタカーで約1時間



【人口】 4,403人 (R5.9月末現在)

【漁業】

- ・ 漁業が基幹産業で通年での水揚げがある
(羅臼昆布・エゾバウフンウニ、ホッケ、ブリ等々)
- ・ 令和5年度 水揚げ額 90億円

【観光】

- ・ シャチやマッコウクジラなど大型鯨類が観光船で見られる
- ・ 令和元年 入込客数 54万人 (コロナ禍は半減)
- ・ 令和3年 (株)スノーピークとキャンプ場運営などに関する包括連携協定
- ・ 令和6年 TaMa-Tec (株)などが新たな宿泊施設建設を発表

【自然・教育】

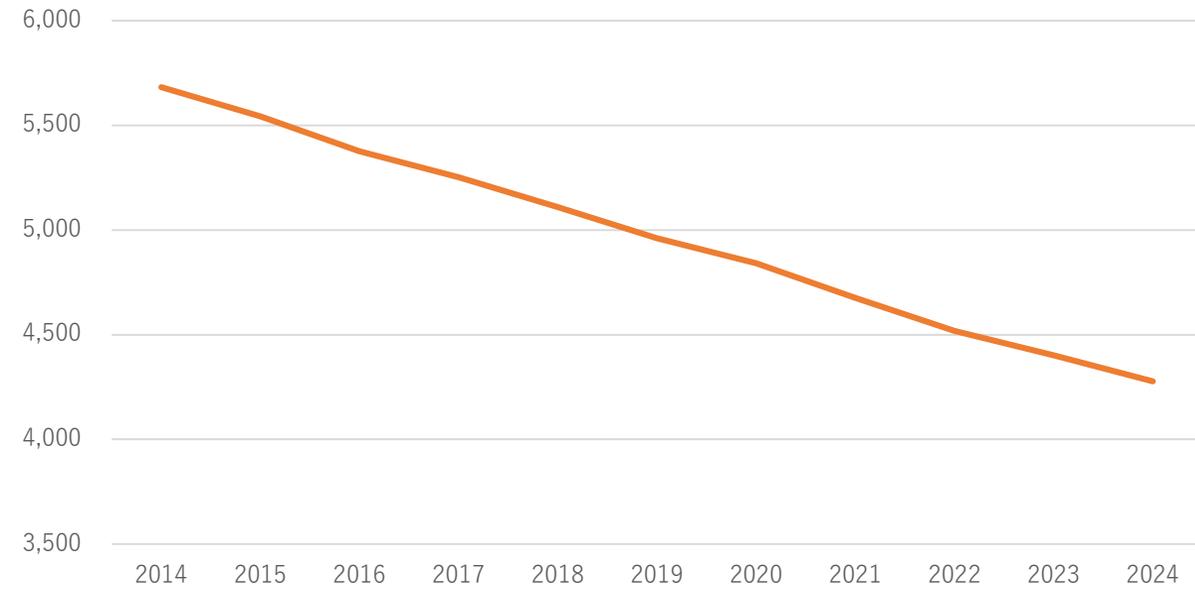
- ・ 2007年 「知床」世界自然遺産登録
(クジラ、トド、アザラシ、ヒグマ、シマフクロウ等々)
- ・ 地域学「知床学」を柱に中高一貫教育を推進
- ・ 北方領土国後島が約24kmの距離にあり、全国の中高が北方領土学習で訪れている

羅臼町の課題



【人口減少】

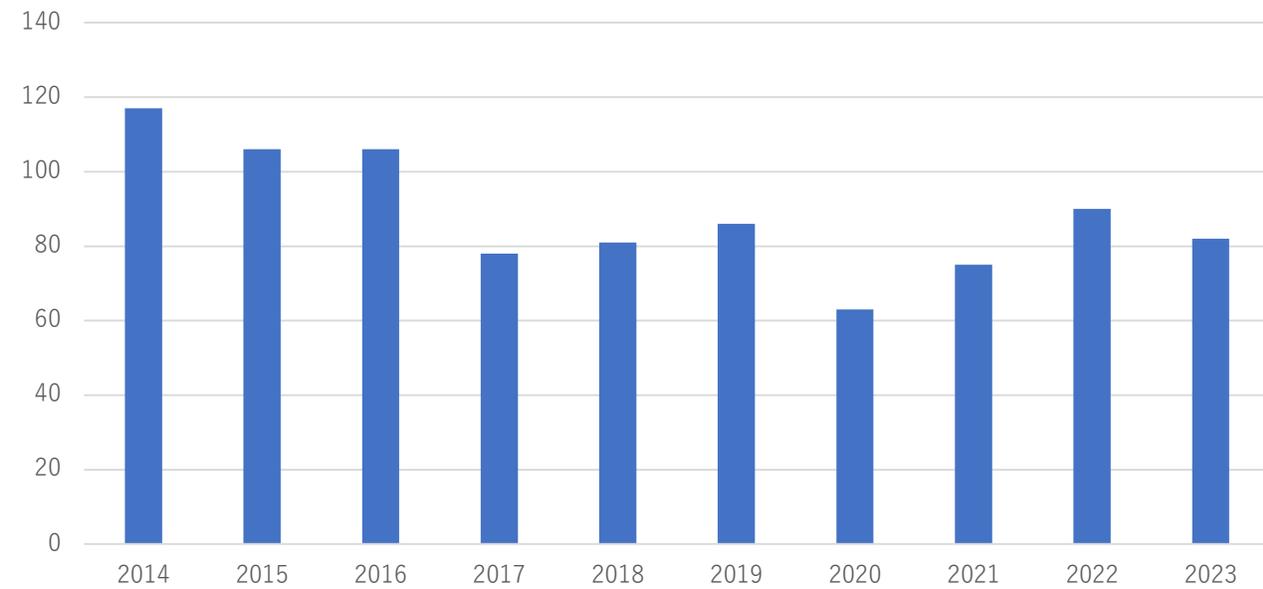
羅臼町 総人口の推移



2014年5,683人→2024年4,278人
この10年間で1,405人減

【産業振興】

羅臼町 主要魚種の水揚げの推移



1990年の253億円を境に急激に落ち込み
海水温上昇によりブリやサバなどが水揚げ

ゼロカーボンシティの取組を通じた、産業の振興や地域の魅力向上が必要

羅臼町のポテンシャル



【地熱】



3本の泉源を有しており、古くから温泉熱を暖房等に利用

【中小水力】



30本以上の河川があり、合計150程度の砂防ダム等が設置

【風力】



海に突き出た狭長な半島
不安定な気候で強風が吹く

エネルギー種類	ポテンシャル
太陽光	252MW
風力	589MW
中小水力	2 MW
地熱	4 MW

発電電力量ポテンシャル
(1,810,247MW h /年)

現状の電気使用量
(32,565MW h /年)

50倍以上のポテンシャル

ただし、世界自然遺産地域であり、自然環境の保全への最大限の配慮が必要

羅臼町が目指す方向性



2030年にCO2排出量68%削減、2050年カーボンニュートラルを目指す

- ✓ 再エネ導入による地域力強化と産業振興
- ✓ 温泉熱を活用した再エネ発電と新規産業の創出
- ✓ 知床の自然の持続的な保全と観光振興



豊かな自然と共生し、
活気に満ちたゼロカーボン地域の実現



温泉を活用したバイナリー発電とエビ養殖
(土湯温泉)

写真：北電総合設計



沼の沢取水堰発電所

写真：北海道HP

EVバス

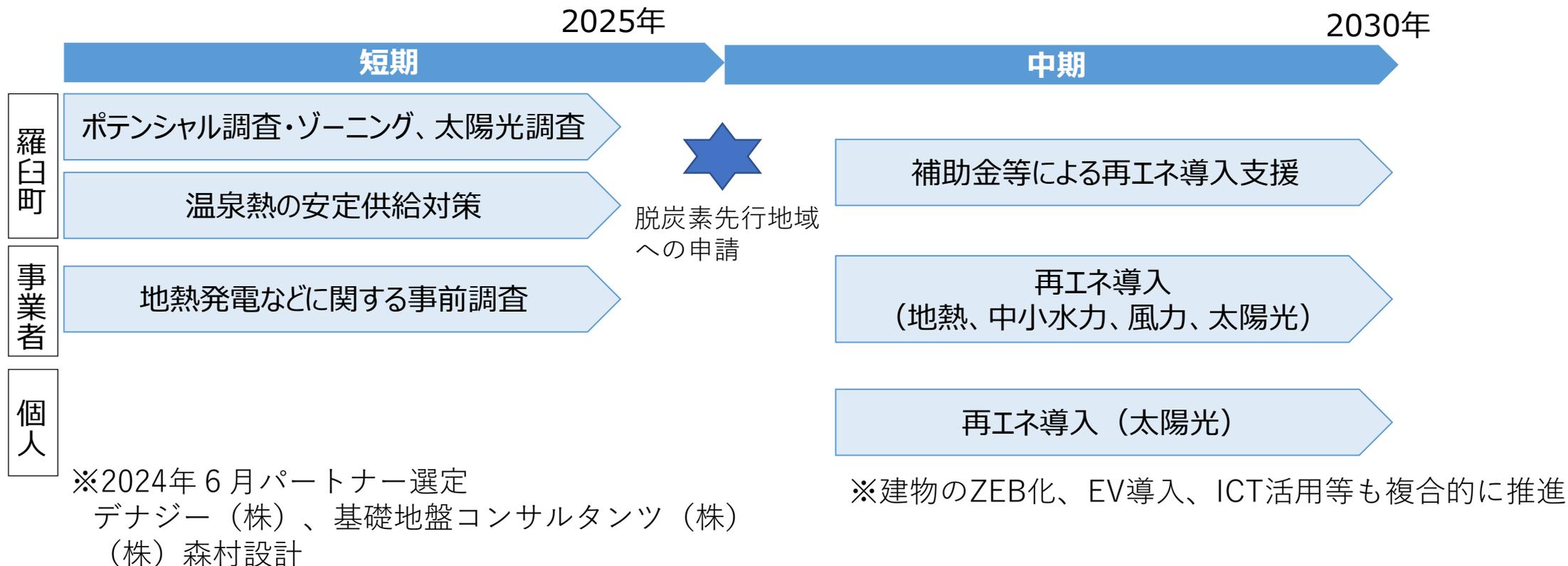
写真：日産HP



CAS凍結技術

写真：島前ふるさと魅力化財団HP

今後の進め方



環境省の脱炭素先行地域への申請を目指し、2024年度から本格的な検討をスタートさせているとともに、再エネの基盤となる温泉熱の安定供給対策に取り組んでいます。
今後、本格的な再エネ導入や再エネ電力の活用等を進めていくタイミングであり、ご賛同いただける企業の皆様より、①再エネ導入をはじめとした連携、②企業版ふるさと納税等によるご支援をお願いいたします。

ご協力をお願い



①再エネ導入をはじめとした連携

<短期>

- ✓ 太陽光、中小水力、風力などの導入
- ✓ 蓄電池の導入
- ✓ 建物のZEB化、省エネ機器の導入
- ✓ EVや充電設備の導入

<中期>

- ✓ EVコミュニティバス、EV船などの導入
- ✓ 再エネ活用による漁業／観光の高付加価値化
- ✓ 再エネ活用による新たな産業の創出
- ✓ デジタル技術によるエネルギーマネジメント
- ✓ 地域マイクログリッドや自営線の検討
- ✓ 地域新電力の設立の検討
- ✓ Jクレジットの検討



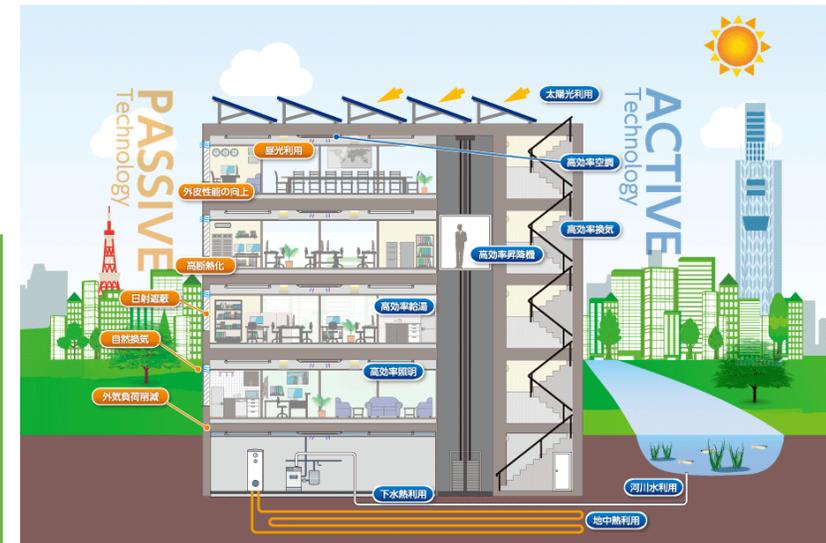
太陽光発電
(イメージ)



町役場のEV車

※羅臼町における支援策

- 新たに試験研究施設や新エネルギー施設などを設置(2,000万円以上)し、常時雇用する従業員がいる場合、3年間の固定資産税相当額及び従業員1名あたり20万円の補助
- 新規に起業する場合、200万円の補助 など



ZEB

画像：環境省HP

ご協力をお願い



②企業版ふるさと納税等によるご支援

知床世界自然遺産 羅臼町 ゼロカーボンシティへの挑戦

<概要>

I ポテンシャル調査・ゾーニング (5,692千円)

- ・各種再エネの事業性や制限要因などの調査
- ・再エネゾーニングマップ作成

II 公共施設への太陽光発電導入調査 (4,870千円)

- ・設置施設の分析／発電量、コストなどの調査

III 温泉熱の安定供給対策 (29,193千円)

- ・温泉井の浚渫、温泉設備の改修など

IV 省エネ設備等の導入支援 (4,397千円)

- ・一般家庭における高効率機器の設置への補助など

<目標額>

44,152,000円 (2025年3月31日まで)

<寄付で得られるメリット>

- ✓ 感謝状を贈らせていただきます
- ✓ 羅臼町HPで寄付企業として掲載させていただきます
- ✓ 町内広報誌で企業紹介させていただきます
- ✓ 役場ロビー等で企業名等を掲示させていただきます
- ✓ ご希望に応じて、企業研修などの受け入れも可能です

<町長メッセージ>

脱炭素先行地域への申請、その後のゼロカーボンシティを目指した取組の基盤となるプロジェクトです。羅臼町は自然エネルギーが豊富ですが、世界自然遺産を有する町として、自然環境の保全に最大限の配慮が必要です。

ゼロカーボンシティの取組を通じて地域の活性化を進めていきます。急激に人口減少が進む小さな町にとっては、とても大きな挑戦です。ぜひご支援、ご協力をお願いいたします。



(参考) 再生可能エネルギーを活用する将来ビジョン



羅臼町の将来ビジョン：豊かな自然と共生し、活気に満ちたゼロカーボン地域

